

2021年9月16日

住友生命保険相互会社

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する ジェンダーボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、独立行政法人国際協力機構（理事長 北岡 伸一、以下「JICA」）が発行する、開発途上国のジェンダー平等と女性のエンパワーメントを推進する事業に資金を充当する「ジェンダーボンド」への投資を決定しました。

JICAは、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として開発途上国への国際協力を担っており、JICAによる債券の発行は、日本政府からSDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的施策の一つにも位置付けられています。

今回のジェンダーボンドの発行により調達された資金は、ジェンダー事業分類*の①ジェンダー平等に関する政策・制度整備を支援する案件、②女性をターゲットグループとして、女性のエンパワーメントや保護を主目的とする案件（例：女性経営者向けの融資事業）、③ジェンダー活動統合案件（例：都市鉄道建設事業における女性専用車両・設備の設置等）に該当する事業に充当される予定です。



写真提供：大石芳野/ JICA

※ 国際基準に基づきジェンダー事業分類を設定（JICA ホームページ）

https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/ku57pq00002cucek-att/gender_classification.pdf

【本件の概要】

発行体	独立行政法人国際協力機構(JICA)
発行額	総額100億円
期間	20年

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本件への投資はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

以上